

2023 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
一般選抜「一般入学試験 1 期」

入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2023 年 2 月 2 日 (木)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術学部 芸術学科 音楽領域

対象コース：Ⅱ類 ウインドアカデミー/ポップス・ロック&パフォーマンス

Ⅳ類 サウンドメディア・コンポジション/ミュージックエンターテインメント・ディレクシ
ョン/音楽ケアデザイン/音楽総合

[課題]

コロナ禍が始まって3年が過ぎ、特に音楽の分野は大きな影響を受けました。しかし、この影響は負の部分のみでなく、正の部分では、「そもそも音楽とはどのようなものであったか？」を私たちに再認識させるものでした。これらを経て、今後の音楽の分野がどのように変化し、発展していくべきか、自身の進む分野と関連づけて論じてください。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

コロナは、病疫の部分では負の部分でしかないが、今までの「当たり前」が何であったか考えるきっかけを私たちに与えてくれた。特に音楽の分野では、社会に出た際、常に前向きな発想が必要となるため、今回の小論文では、受験者が前向きな発想ができるかを問うものとしたと考えた。